

Sawa Tomoe Live at La Caña Spring 2025

いっしょにうたいませんか!
ともえゴスペル&コーラス東京

4月6日(日) ラ・カーニャ
13:30~15:30 ◆詳細は裏面に

沢知恵 **春** ラ・カーニャ 東京下北沢

2025年4月5日(土) 17:00開演

5,100円 (4,500円+1ドリンク600円)



主催・お問い合わせ
コモエスタ <https://comoesta.co.jp>
メール info@comoesta.co.jp

- 未就学児の入場はご遠慮ください。小学生以上は大歓迎です。年齢にかかわらずおひとり1枚のチケットが必要です。
- 子ども・学生のみなさんには、当日受付にて沢知恵のCDやグッズに使えるコモマネー2000円分をさしあげます。
- 付き添いが必要な障がいのある方は、お問い合わせください。付き添い者はドリンク代のみでご入場になれます。



2025年1月10日(金) ▶ 2月9日(日)
ギャラリー鳥たちのいえ
 鳥取市本町1丁目201エドストビル
 開廊時間 10:00 ▶ 18:00 休廊日 水曜日
観覧無料

観覧無料

手前 鳥取県 株式会社サトウ 地方株式会社エド東京 鳥たちのいえ

沢知恵さん季節公演
 チラシのデザイン

沢知恵 最新のコンサート動画

◇岡山県立図書館
 コリアン・ポエムの夕べ
 金素雲と茨木のり子

◇大島青松園
 コンサート2024

4月6日(日) ラ・カーニャ〈教室〉①
 13:30 ▶ 15:30

1回 5,000円 年4回
 伴奏、指揮、教材、会場、運営、消費税込み

ご希望におこたえて、岡山で沢知恵が伴奏、指揮する日本語中心のゴスペル教室の出版版です。2025年4回行います。1回ずつ完結する内容です。演習、英語が読めなくても大丈夫です。ラ・カーニャ季節公演同様、公式サイトからお申し込みください。

花はどこへ行った

最新アルバム『絶賛発売中』

愛と平和をピアノで弾き語る珠玉の名曲たち
 (いのちの歌) 愛は花、春はその種子
 (産者のまて) たまたましてくたさい 愛やさしく
 (愛生園挽歌) 小さな恋のうた + キヨソク

3,000円(税別) CMCA2023 コスモスコース

◇ともえゴスペル&コーラス(岡山)
 原則第2・第4木曜日の夜7時から
 天満屋近くの岡山教会で練習しています。
 小学4年生以上年齢不問。
 お気軽にお問い合わせください。
 無料体験あり。

Sawa Tomoe Information

◇コモエスタ通販でCD・グッズ
 沢知恵のCD、書籍、Tシャツ、バッグなどを
 コモエスタ通販でお取り扱い中です。
 コンサート・チケットやゴスペル教室のお申し込みもできます。
 どうぞご利用ください。どんなことでもお問い合わせください。

◇RSKラジオ 沢知恵 日曜日の音楽室
 毎週日曜日夕方5時から1時間の沢知恵の音楽番組です。
 やさしいトークとジャンルフリーな選曲で大人気!
 ラジオならエリア・フリーでどこでも聞けます。

#Comesta #Twitter
 #facebook #Instagram

『花はどこへ行った』
 沢知恵インタビュー
 イタワグー文 松山晋也

ASR1/44頁 700円(税込)

ちゃんとインタビューを受けたのは、20年以上ぶりのこと、これを読んで私をきらいにならないといいけれど。(あとがきより)

B5チラシ 裏面 / 1ページは表面

沢 知恵さんの、下北沢ラ・カーニャ季節公演のデザインも今年で5年目になりました。これまでは、ライブ中の沢さんの写真を使っていたが、今年はイラストレーションに。霜田あゆ美さんにポートレイトを布の絵で作ってもらいました。たのしそうな横顔、動き出しそうな手と足は、歌っているときの沢さんにほんとうにそっくりです。耳に揺れるピアスや鍵盤の細かさにも見入ってしまいます。沢さんご本人だけでなく、ファンの方やゴスペル教室のメンバーからも好評だそうです。たのしくて春らしいチラシになりました。(赤波江)

手が長くたるし赤茶けた製鋼煙

銀行員等朝より螢光す烏賊のごとく

強し青年干潟に玉葱腐る日も

横とびの黄色い花火工区の子等

大浜崎燈台にて 三句

燈台守とその妻夜の井戸汐鳴りす

夜水汲み上ぐ女王燈台を上眼にし

銀河に深く旗竿夢に魚いたわる

沼の辺の自転車事務の脳裡にいる

自動車光茫坂這う夜を妻と眠る

もまれ漂う灣口の蕨夜の造船

本文

下右 年譜 / 下左 奥付

句集

の本文デザインはどのように作られるのだろうか。俳句、短歌、詩の本文の形を考えると、作者は散文の組版よりは大切にしているだろう。

俳句は五七五と字数が決まっているが、つねに仮名の一音ずつの表記で十七文字ということではなく、漢字が加わって活字組版の行の字数は変化する。字余りの句もある。ベタ組み、あるいは均等な字間で組めば、行長は変化する。頭揃えにすれば行末は不揃いになる。

俳句の組版は二種類、字間均等か行長を均等か（字間詰めは論外）である。行長均等なら、字間は各句ごとに変化する。最も長い行を基準にして他をこれにそろえる。その基準句の字間はベタ（字間なし）か、少しゆるくして八分か四分のアキ。他があくので基準句の字間をすこしゆるやかにしてお

くほうがよいと思う。

この句集の組版におどろくのは、新書版という小さな判型にもかかわらず均等行長で組み、その版面をページのほぼ半分の面積におさめていることである。そして地のマージンを広くあけている。1頁5句組でノドに寄せて左右のマージンを広くしている。沢木欣一と細見綾子の風発行所、金子兜太恐るべし。

下手なデザイナーなどより、俳人は俳句の組版については知識があり、自分の句の組み方には敏感だろう。かれらの見識から句集ごとに本文のアイデアを見つけていくにちがいない。そんなことをこの句集で気付かされた。『金子兜太第二句集』の最後に、俳句の版面だけでなく、その他のページにも心が配られていることを紹介する。本文、部の扉、年譜、奥付。

少年
一部

四部

部の扉

年譜（原寸）

昭和十二年 一九三七
水戸高校文科乙類に入学。柔道部に属す。座禪会に入るも間もなく脱会。
昭和十三年 一九三八
一年以上級の出沢三太に誘われて、吉田・長谷川兩教授宅の俳句会に出席。全国学生俳誌「成層圏」に参加。祖父茅蔵死亡。
昭和十四年 一九三九
鳥田青峯主宰「土上」に投稿。「俳句研究」の中村草田男選に特選。

昭和十七年 一九四二
昭和十八年 一九四三
昭和十九年 一九四四
昭和二十年 一九四五
昭和二十一年 一九四六
昭和二十二年 一九四七
昭和二十三年 一九四八
昭和二十四年 一九四九
昭和二十五年 一九五〇
昭和二十六年 一九五一
昭和二十七年 一九五二
昭和二十八年 一九五三
昭和二十九年 一九五四
昭和三十年 一九五五
昭和三十一年 一九五六
昭和三十二年 一九五七
昭和三十三年 一九五八
昭和三十四年 一九五九
昭和三十五年 一九六〇
昭和三十六年 一九六一
昭和三十七年 一九六二
昭和三十八年 一九六三
昭和三十九年 一九六四
昭和四十年 一九六五
昭和四十一年 一九六六
昭和四十二年 一九六七
昭和四十三年 一九六八
昭和四十四年 一九六九
昭和四十五年 一九七〇
昭和四十六年 一九七一
昭和四十七年 一九七二
昭和四十八年 一九七三
昭和四十九年 一九七四
昭和五十年 一九七五
昭和五十一年 一九七六
昭和五十二年 一九七七
昭和五十三年 一九七八
昭和五十四年 一九七九
昭和五十五年 一九八〇
昭和五十六年 一九八一
昭和五十七年 一九八二
昭和五十八年 一九八三
昭和五十九年 一九八四
昭和六十年 一九八五
昭和六十一年 一九八六
昭和六十二年 一九八七
昭和六十三年 一九八八
昭和六十四年 一九八九
昭和六十五年 一九九〇
昭和六十六年 一九九一
昭和六十七年 一九九二
昭和六十八年 一九九三
昭和六十九年 一九九四
昭和七十年 一九九五
昭和七十一年 一九九六
昭和七十二年 一九九七
昭和七十三年 一九九八
昭和七十四年 一九九九
昭和七十五年 二〇〇〇
昭和七十六年 二〇〇一
昭和七十七年 二〇〇二
昭和七十八年 二〇〇三
昭和七十九年 二〇〇四
昭和八十年 二〇〇五
昭和八十一年 二〇〇六
昭和八十二年 二〇〇七
昭和八十三年 二〇〇八
昭和八十四年 二〇〇九
昭和八十五年 二〇一〇
昭和八十六年 二〇一一
昭和八十七年 二〇一二
昭和八十八年 二〇一三
昭和八十九年 二〇一四
昭和九十年 二〇一五
昭和九十年 二〇一六
昭和九十年 二〇一七
昭和九十年 二〇一八
昭和九十年 二〇一九
昭和九十年 二〇二〇

金子兜太句集
著者 金子兜太
編者 細見永水
発行所 風發行所
定価 二五〇円

メモランダム本のデザイン 28

金子兜太句集 その3

（風発行所）1961年

日下潤 一

西岡琢也 チャンポン派のぼやき

酒は チャンポン派だ。いろんな酒を少しずつ飲みたい。ビール党がひたすらビールを飲んで小便を製造しているのをいつも呆れて見ている。へチャンポンは悪酔いする」は的外れな俗説だ。ビールだって一ダース飲めば悪酔いするよ。

映画館に行って予告編になると目をつぶる。〈映画泥棒〉の時は耳もふさぐ。でもたまに予告編を観る。観ると映画の種類（ジャンル）が激減したと分かり呆然とする。

ミニシアターはともかくシネコンに行くと、ハリウッドはドタンバタン、大音響とド派手音楽の洪水、そしてCG。近未来、地球の末路や大災害がネタで、あとはCGをふんだんに使ったファンタジーか。

日本映画は安手のCGアクション、コンゲーム。登場人物の役割が決まっただけで、窮地でそれぞれ力を発揮、修羅場を切り抜ける。アメリカのテレビドラマ『スパイ大作戦』ですね。チト古いか。これを全編CGと大音響・音楽でぶちかます。俳優は大声でがなり

立て漫画の芝居をする。あとは稚拙な若い俳優（とも言えん）男女の稚拙なラブストーリー、学園ものとか。

結論! 現在の日本映画のジャンルは以上の三つです! あ、ゴジラを入れると四つか。これをガキと一緒に我々いい大人が、何十年にもわたって観せられてるわけですよ。実写映画のアニメ化、ゲーム化が猛スピードで進行して、誰ももう止められない。映画館がドンドン遊園地化して行くわけだね。

秀作『佐々木、イン、マイマイン』(20)の監督、内山拓也の新作『若き見知らぬもの』が封切られたので観た。僕もたまには日本映画を観ます。脳に障がいを持つ母と暮らす若い兄弟の日常を描く。

両親(亡父は博打好きのダメ人間で、母の障がいの遠因)が始めたスナックを継ぐ兄、格闘技チャンピオンを目指す弟の周りには常に「暴力」が潜む。それに抗わぬ兄、チャンピオンになっても虚ろな弟、変わらぬ母。狂態を続ける母……意欲的な企画だが脚本が

未消化で、特に兄の唐突な死の後迷走する。惜しいなあ。こう言う映画が観客動員はともかく完成度が高いと、日本映画の幅が確実に広がる。チャンポン派は考えるのです。

昨今の映画と共に、配信のNetflix、オリジナル作品でも強く感じるのはジャンルの少なさ(大半サスペンス、犯罪もの)、CGと音楽の多用(過剰)に加えて、二時間を越える長尺が多く、何より映画の「文法」を無視した、あるいはよく習得していないスタッフの存在だ。

ドラマが始まって誰が主人公か分からない、細かいカットで敵味方の判別が出来ない、話などの方向に展開するか不明、必要なカットがなく(フレイムサイズも的確でない)、不要なカットやシーンが多い(長尺の1因)など、プロデューサーも脚本も監督も撮影、編集も、基本をキチンと理解して仕事してないと思えない。プロの仕事でないものが多い。

最近NetflixもAmazonプライムも、観たい映画が無くて困る。観始めてもすぐに止めてしまう。よく練られていない脚本(どこを練ればいいのか分からないのだろう)に巨費をかけて、未熟なスタッフとキャストで只々作り続けている。よってそれが映画だと思いついで観る観客がドンドン増え続けている。一度下がった観客のレベルを上げるのは並大抵でないのだがそんな事は誰も気にせず、今日も映画は世界で作られている。



ジェリー・ガルシア Jerry Garcia
1942-1995

もり・えいじろう 1948年、京都府生まれ。関西のタウン情報誌「プレイガイドジャーナル」の表紙、野外コンサート「春一番」ポスター、『荷風と東京「断腸亭日乗」私註』(川本三郎 著)、絵本『おとうさんのうまれたうみべのまちへ』など。

おおいしよしたか 1974年、京都府生まれ。京都嵯峨嵐山にある古書店London Books店主。文芸書を中心に、人文書、美術書、絵本、サブカルチャーなどを扱う。観光客と地元の人に支えられ営業を続ける。



筒井康隆『敵』
新潮文庫/2000年

London Books
616-8366 京都市右京区嵯峨天龍寺今堀町22

SF好きではないが筒井康隆だけは愛読するという人は多い。ボクもその一人。フェイバリットは此度映画化の『敵』。元大学教授で愛妻に先立たれた75歳の老人の生活を描く。「朝食」「友人」「病氣」等章ごとに、人生論的な情緒を排し、どこまでも冷静に細やかに観察することで、静謐で豊かな生活世界を現出させる。

終盤になると、空想、夢のシーンが増え、物狂おしくなってゆく。どこまでが現実で夢なのか判然しなくなる。それまでストイックなまでに自己を律する生活を送っていただけに異様。冒頭から頻出する漢字による当て字の表記(主人公が慌てると「度疑魔疑」し、汗かくと肌着は「度暑微暑」に濡れる……)もいよいよ不気味、ただならぬ不穏さを醸す。

壮大なロマンより、小規模な話、生活の断片といったものに惹かれる傾向のあるボクだが、まさに身近な現実をどこまでも見極めてゆく傑作。

森英二郎 思い出のクリフォード②

1974年、僕は大阪の情報誌「プレイガイドジャーナル」の主催するアメリカツアーに参加してカリフォルニア大学のパークレー校の寮に滞在してました。ある日、友人と車で30分ほどのサンフランシスコのヘイト・アシュベリーを探しに行けへんか、ということになりました。そこは60年代にあのヒッピー文化の代表的ロックバンドのグレイトフル・デッドのメンバーやその周りの詩人やアーティストの溜まり場になっていたアパートがあった場所でした。ジェリー・ガルシアはそのバンドのリーダーでした。僕たちは街をウロウロ歩き回ってやっと見つけました。わあー、ここがああヘイト・アシュベリーや、と思わずびざまずいて地面を撫でていました。そういえばビー・グラフィックスの事務所にあった犬の名前はガルシアでした。

日日読書
大西良貴

にしおかたくや 1956年、京都府生まれ。脚本家。代表作に『ガキ帝国』『TATTOO(刺青)あり』『沈まぬ太陽』『はやぶさ〜遙かなる帰還』、TVドラマ「京都迷宮案内」シリーズ、「返還交渉人」など。2026年『幕末ヒコクラテス』公開予定。

漱 石の『坊っちゃん』よりだいたい三歳年少、石川啄木は明治三十八年（一九〇五）十九歳のとき、父が岩手県浪江村の曹洞宗の寺の住職を罷免され、お寺の「坊っちゃん」の地位からすべり落ちた。そんな境遇なのにその年、旧制中学時代からの恋人、堀合節子と結婚した。しかし結婚式にはわざと欠席した。

翌年、啄木は浪江小学校の代用教員となった。月給八円、「天才」を自認する啄木としてははなはだ不満であったが、収入のあてはほかにない。

明治四十年、二十一歳の啄木は函館に渡り、



関川夏央 昭和残照 二十九

石川啄木の人生の収支

ここでも代用教員になった。景気のよい函館だから、月給は十二円であった。十二円を現代の購買力ではかれば十二万円だが、それで母、妻、娘、それに自分を養うことができるわけもなく、地元新聞の遊軍記者にもなつて月十円ほどを得た。しかしひと月あまりのち、函館大火で小学校も新聞社も焼亡した。

伝手を頼って札幌、小樽の新聞社に短期間つとめ、明治四十一年はじめ、釧路の新聞社に月給二十五円で雇われて単身赴任した。だが刺激のない北辺の街の暮らして我慢できるわけもなく、三ヶ月で辞めて上京した。家族は函館の友人に託した。

東京では、盛岡中学の三年先輩金田一京助を頼った。自信過剰の啄木は、書きさえすれば原稿は売れると信じ、二カ月で短編小説八本、合計三百枚分を書いたが一本も売れなかった。本郷の三畳半、二食付きで十一円の下宿代は滞る。函館に残した家族は、早く上京させろと矢のような催促だ。そんなときでも啄木は、友人から借りた金で浅草十二階下の娼婦を買った。

明治四十一年、梅雨時の月末、彼が三日連続の半徹夜で二百五十首もの短歌をつくったのは、何かをしなければならぬという焦りから発した「補償作用」であった。それらの歌は結果として啄木を歴史に残る歌人としたのだが、本人の志はあくまで小説にあり、

短歌は自分を慰める「玩具」にすぎなかった。

明治四十二年二月、面識のない盛岡中学の先輩・佐藤北江（さとうきたけ）を東京朝日新聞社に訪ね、自分を売り込んで校正係として朝日に入社した。月給二十五円、週三回夕刊も担当すれば、さらに七円という条件だった。啄木は生意気でウソつきであったが、小柄で明るい人柄は人に好かれた。

入社しては休む暇ばかりしていた啄木だが、『二葉亭四迷全集』の校正を担当した明治四十三年からは仕事に打ち込んだ。しかし翌年には結核性腹膜炎を病み、明治四十五年四月、現在の価値で千五百万円ほどの借金を残して痩せ衰えて死んだ。二十六歳だった。自身の香典百四十五円が、彼の得た最大の一時金であった。

『坊っちゃん』の主人公は短気と自己都合の「正義」ゆえに、二カ月足らずで四国の中学校を辞して帰京、路面電車会社の技手になった。中学校の月給は四十円、現在の購買力では四十万円、悪くはなかった。それが二十五円に下がってしまったが、小さな家を六円で借りて清といっしょに住んだ。清はしごく満足そうだったが、わずか三カ月後、風邪をこじらせて亡くなった。

漱石はお金について、かなりつづぎに書く作家であった。経済を軽んじないという意味で、彼は近代文学ではなく現代文学の先駆者といえた。

続
「ぼくの映画館は家から五分」 35

伊野孝行

もともと「ぼくの映画館」は月刊「シナリオ」で連載していた。あと何回続ければ本になるのだろうか。いや、貯まったところで誰か手をあげてくれるのか。

菊池寛は売り込みに来た若手に「君の小説は面白いが有名になつたらまた来てくれたまえ」と断つたらしい。ぼくにもつと名があればすでに話は来ているはず……。

御歳94歳のイーストウッドの新作『陪審員2番』は日本での公開が見送られた。つてことは下高井戸シネマにまわって来ることもない。配信で観られるが、モニターやテレビ画面で観た映画をスクリーンで観直すと、あんなの映ってたっけ？ つてことがよくある。物理的に映画はデカイ画面で観るべきだ。

バーで恋人と喧嘩別れした女性が死体で発見される。容疑者のパートナーの男性は日頃から素行が良くない。この裁判の陪審員に選ばれたジャスティンは事件のあった夜、同じバーにいた。そして帰りに車で鹿をはねた記憶がある……鹿ではなかったのか？ 彼には出産間近の妻がいる。以前アル中だった彼がバーで酒を飲まなかったことは信じてもらえるか。無実の男を刑務所に送るか、家庭を壊して正直に告白するか。淡々と描かれるからこそ人間模様がしつかり刻まれる。まぎれもない傑作。なぜ公開しない？ おそらく有名な俳優が出ていないから。無名なぼくはせめてこの連載で推したい。



いの・たかゆき 1971年、三重県生まれ。イラストレーター。第44回講談社出版文化賞、第53回高橋五山賞。著書に『画家の肖像』『となりの一休さん』などがある。テレビアニメに『オトナの一休さん』。最新刊は南仲坊さんとの対談本『いい絵だな』。

イラストレーション……南仲坊

せきかわ・なつお 1949年、新潟県生まれ。作家。代表作に『海峽を越えたホームラン』（双葉社/第7回講談社ノンフィクション賞）『坊っちゃん』の時代』（双葉社/谷ロジローと共作・第2回手塚治虫文化賞）、近著に『人間晩年図巻』シリーズ（岩波書店）。

Dutch Design Delft Part. 2

Delftは、歩いて回るのにちょうどよいオランダ南西部の静かで小さな町です。昨年9月につづき訪れた11月の旅では、もっとデルフトの陶器について知りたいと思い、プリンセンホフ博物館 (Museum Prinsenhof Delft) を訪れました。オランダ人ディーラーのハーマンさんが「見ておくといいよ」と勧めてくれた場所の一つです。

修道院として15世紀初めに建てられ、その後はオラニエ公ウィレム1世 (1533-1584年) の居城となった歴史のある建物を改装し、博物館が公開されたのは1948年のことだそうです。デルフトの町の歴史を知るのに欠かせない建造物のなかで、コレクションの17世紀ネーデルラント絵画やさまざまなオランダ陶器を鑑賞することができます。

とりわけ印象的だったのが写真のオランダ製マヨリカ陶器でした。破片を繋ぎ合わせた跡がいくつも見えます。解説によると、かつて修道士が所有していたと推測されるお皿。制作は1550年から1575年の間と考えられています。見込みに描き込まれた文様は、はしご、二本の鞭、鞭の柱、十字架、いばらの冠、酢を含ませた海綿、槍と釘。これら受難の道具が意味するのは、イエスの復活 (イースター) です。かなり貴重だった当時のマヨリカ陶器。1568年に始まる八十年戦争に埋もれてしまわず、こうして今わたしたちが鑑賞できるのは奇跡と感じ、しばらくこの前を立ち去ることができませんでした。



うおずみ・やすこ

1977年、兵庫県姫路市生まれ。Umwelt Textiles & Objects店主。学生時代にテキスタイルを学ぶため、デンマークへ留学。帰国後、古美術店に勤めたのち2012年、京都・夷川通にUmweltを開く。

魚の環世界 34 魚住寧子

タイトルレタリング……ヨコカク (岡澤慶秀)

ウンベルト Umwelt Textiles & Objects
604-0962 京都市中京区夷川通
御幸町西入達磨町588-1

アニメ『子。一地球の運動について』がおもしろい。原作は漫画 (作・魚豊/小学館)。最新話の配信を、毎週たのしみにしている。15世紀のヨーロッパ。地動説が異端思想とされた時代に、その証明と研究のため命をかける主人公たち (拷問や処刑で命を落とすので主人公が代わっていく)。最新話では活版印刷が登場。運搬中に活字が割れてしまって「N」だけ無い、どうしよう、というシーンや「父型」「母型」という言葉も出てくる。女性主人公が語る。「文字は奇跡だ。文字が使えらると、時間と場所を超越できる。一瞬この時代から抜け出せる。文字になった思考はこの世に残って、未来の誰かを動かすことだってある」(赤波江)

親友の村上知彦くんが昨年末に亡くなった。73歳。彼が大学生の時から付き合い、その後マンガや映画の評論、編集者として活動する彼と一緒にたくさん仕事をし、公私ともにとても助けてもらった。1月13日は三重県の津市図書館で伊野孝行くんの地元デビューのトークショーとデッサン会に参加。楽しい時間。「こうすべき、こうしろと命令する強引な動きに対して、馬鹿言うなど、馬鹿野郎どもめがと、そういう風に少なくとも言うのは難しかったとしても、少なくとも思うこと、正気を保つためにも、この基本姿勢を大切にしたいなどあらためて思った」(武田砂鉄、2月14日、TBSラジオ「プレナイト」の冒頭トーク) (日下)

今月のあとがき

2025年2月15日発行 (ロゴデザイン)ヨコカク (編集・デザイン)赤波江春奈+日下潤一 (印刷・製本)グラフィック
<発行>ビーグラフィックス ©B GRAPHIX 2025. Printed in Japan 【無断転載禁止】 お問い合わせ = akabae@bgx.jp

◆Web = bgxgraph.com ◆Twitter & Instagram = @bgx_book_design ◆日下潤一のブログ = www.bgx.jp/blog/
「オリジナリ」はBGXが毎月発行するフリーペーパー/100部発行

◆ロンドンブックス (京都・嵐山) ウンベルト (京都・夷川) フラヌール書店 (東京・不動前)に10部ずつ、古瀬戸珈琲店 (東京・神保町)に5部、置いてあります

オリジナリ 37

E.Mori



Originally February 2025

消しゴムをなくしてくる。何回も。消しゴムだけじゃなくて、鉛筆も消える。赤白帽も、名札も、手袋も。「なーんか、無いんだよね」とヘラヘラ笑う。

そして数日たつと、なくした消しゴムは、ちよこんと筆箱に入っていたりする。すこしボロボロになって。あるじゃん。ちゃんと、あるんじゃない。

あまりにも消しゴムをなくしてくる回数が多い。わたしは子どものころ、消しゴムをなくしたことなんて、なかったけどなあ。

「あのさあ、消しゴムもね、タダじゃないんだよ。お母さんが働いたお金なんだよ」とお金の話をした。ふんふん、と聞いてくれるけど、「お母さんのお給料って、いくらなの？ おしえて？ お父さんは？」とちがう方向に話が進んでいく。

いい機会と思ってわたしの月給も、うちの家計の内訳もおしえた。「お母さん、けっこうお金持ちじゃん！ でも電気代って高いんだね。お母さんが毎日パソコン使うからだね」と、またヘラヘラ笑っている。残念ながら、君の母は、パソコンを使わなければ仕事にならず、お金がもらえない職業である。

「いやいや、そんなことより！ 君はもう消しゴムなくしてこないで！」

子育て経験者にきくと、みんな同じように言う。「男の子はしょっちゅう消しゴムなくしてくるよ」。わたしはせせと、安い消しゴムのまとも買いをする。

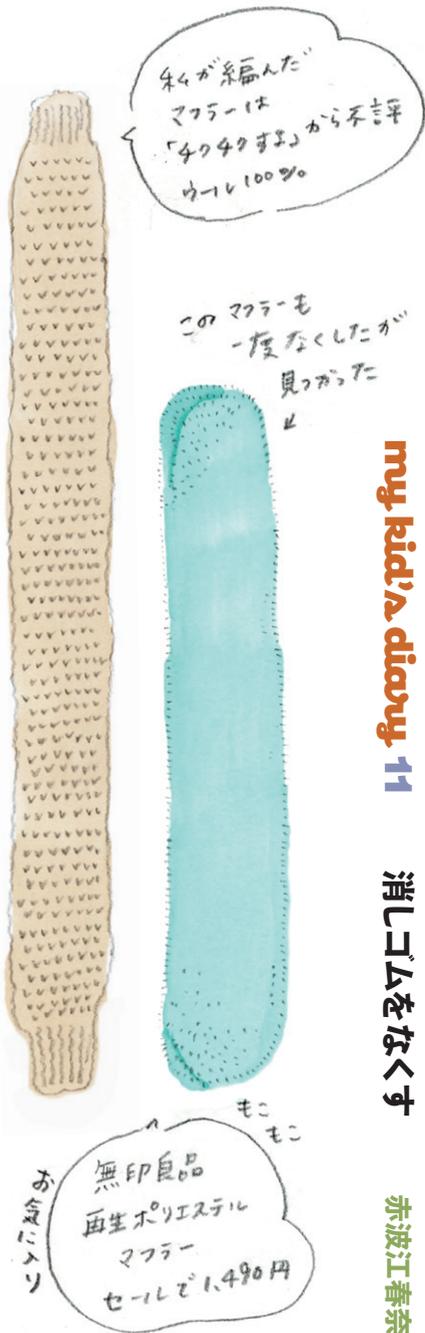
一度、空っぽの何も入っていないランドセルで帰ってきたことがあった。びっくりして、あまりにも予想外のことだったので、「はっはっはっ！」と変なふうに笑ってしまった。だって、笑うしかない。

「ごめん、本当に気がつかなくて、ぜんぶ忘れてきた」とまじめな顔と声で弁明する息子。きっと、本当なんでしょう。まったく共感はできないけれど。宿題もなんにもできないので、その夜は一緒にテレビで『ちいかわ』を見てすごした。

ある日の宿題。国語の音読で、同じところで何度もひっかかる。「ここが読みにくいのは、この文章が悪い！」と言って、勝手に文章を書き変えて読んでいた。誰がそんなこと教えたんだろう。わたしにはそんな発想、ない。

自分の子どもなのに、自分が育てているのに、ぜんぜん自分みたいな人間にならない。子育てって可らしい。一体どんな大人になるんだろう。ただただ、それが楽しみではない。

あかはえ・はるな 1985年、長崎県生まれ。愛知県立芸術大学卒業。2010年、ピーグラフィックス入社。2017年9月に出産。あと少しで小学1年生も終わり。いろいろなことが起こった1年間でした。春休みには、いちご狩りとドラえもんの映画に行く予定。



my kid's diary 11

消しゴムをなくす

赤波江春奈